

## 【所信】

2023 年度 副理事長 若林 美紗

地域社会における子どもの育ちを巡る環境や、家庭における親の子育て環境が変化しています。また、近年は更に価値観の変化、生活様式の多様化により、人間関係が希薄していき地域社会の大人と子どもが関わる機会も減っています。そして、離婚率の増加や女性の社会進出が一般的になり、仕事と子育ての両立が出来るような社会環境が整備されてはいますが、課題はまだあると感じます。

このような様々な要因が重なり、家庭教育の現状も課題も変わってきています。家庭内だけで子育てを担い、家庭内に閉じて家庭教育を行うのではなく、親も子も地域もつながりや関わり合いを持つことが重要で、それが子どもの社会的自立や大人の人生を豊かにしていくことに繋がります。山積している課題を、青年会議所の多角的視点や経験で捉え、青年会議所だからこそ出来ることを考え、実行していきます。

また、情報化社会を生きる私たちは、手軽に成功者の体験談を見聞きできるようになり、成功ありきの行動や努力にばかり目が向きがちです。勇気を出して挑戦することの大切さを学ぶこと、結果はどうあれ挑戦することに意味があると考えることが難しくなっています。好奇心旺盛な幼少期は、目標に向かって創意工夫をすること、失敗から学んだ成功体験を活かすこと、立ち直る方法、最後まで諦めないことなど、今後の人生における大切なことを学ぶとても大切な時期です。子どもたちに色んな経験の機会を与え、経験値を増やし、好きなことを見つけるきっかけになるための時間を提供していきます。

結びに、育児世代でもある青年会議所メンバーが、家庭や仕事、JC 活動を並行しながらも誰でも活躍できる組織環境の構築を更に目指してまいります。